

十六夜会会員の皆様へ。会長の竹内です。

今年もあと残り僅か、コロナで始まりコロナで終わろうとしています、皆様お元気そうで何よりです。

十六夜会岡山の令和2年度忘年会は予定通り11月29日(日)に奉還町のRYOUTEIで開催され、参加者は福田富男さん、保田立二さん、そして私竹内宏器の3名でした。少々寂しい集まりとなりましたが、第三波が拡大しているこの時期、仕方のないことと思います。

参加した三人もコロナには罹りたくないのもアルコール抜きの忘年会となりましたが、皆さんから寄せられた近況報告やコロナの今後について話は盛り上がりました。ただ、医学博士が2人もいたのでコロナの話題も専門的で、PCR検査がなかなか普及しない理由についても学術的に説明してくれたのですが、少々難しすぎて私には理解不能でした。もっとも、「コロナが何月ごろ終息するか？」の質問については、さすがの医学博士も「わからない」との解答でした。

明るいニュースといえば、待ちに待ったワクチンが来年には我々の元に届きそうということ、そしてその頃には副作用の有無も明かになっているだろうという見通しがあります。そうなればこの厄介なコロナもインフルエンザと変わらないものとして我々の生活も以前の平穏な日々が戻ってくるでしょう。

そうなれば来年秋に延期となっている”2020同窓会”も安心して開催できるというものです。それまで生き延びて皆様の笑顔を拝見したく思っています。

少し気が早いかもしれませんが、皆様よいお年をお迎えください。

追伸

皆様からの近況報告を同封しますのでご覧ください。また、忘年会の様子はホームページに掲載しておりますので併せてご覧ください。